

2023 4/11

No.2184

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



2027年に国際園芸博覧会（GREEN×EXPO2027）が開かれる上瀬谷通信施設跡地（横浜市瀬谷、旭区）。南北を貫く「海軍道路」の桜並木は3月下旬に見頃を迎えた（4～7日に同博覧会協会事務次長の講演録）



## contents

視点点描	3
沿線の活性化本格化へ	
講演録	4
「2027年国際園芸博覧会の開催に向けて」 2027年国際園芸博覧会協会事務次長 小林 一美	
特集	8
ググるは古い？ チャットGPT 「AIの民主化」世界を変えるか	
政治双眼鏡	12
衆院解散、どうする岸田さん 広島サミット、政権の追い風になるか	
サヘル・ローズ×リアルワールド	13
戦禍を生きた 私の言霊を捧ぐ	
かながわTODAY	14
3月の主な経済ニュース	

### 事務局だより

◇2023年4月のシンポジウム  
4月17日(月)午後1時30分～  
3時00分

県民共済みらいホール(県民  
共済プラザビル1階)

パネリスト:

横浜岡田屋4代目社長

岡田 伸浩 氏

天吉5代目店主

原 茂男 氏

泉橋酒造6代目蔵元

橋場 友一 氏

演題:「暖簾をつなぐ」

◇2023年5月の講演会

5月19日(金)午後1時30分～  
3時00分

ロイヤルホールヨコハマ4階  
「エリゼの間」

講師:第一生命経済研究所経  
済調査部首席エコノミスト

熊野 英生 氏

演題:「今後の景気見通しと  
日銀新体制」

【新規会員】(23年4月1日現在)  
・神奈川新聞神奈川会(23年4月)  
・辻村商事株式会社(23年4月)

# 視点 点描



## 沿線の活性本格化へ

3月18日午前5時8分、相模鉄道（横浜市西区）と東急電鉄（東京都）それぞれの駅長2人の出発合図とともに、「ヨコハマネイビーブルー」の電車が新横浜駅を出発した。行き先は、埼玉高速鉄道線の終点、浦和美園駅（さいたま市緑区）。相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大―日吉、約10<sup>分</sup>）の開業によって、構想の本格始動から約

20年、都心直通という悲願のプロジェクトがついに結実した。通勤・通学ラッシュ時の運行本数は1時間あたり、「相鉄新横浜線」（西谷―新横浜）が最多11本、「東急新横浜線」（新横浜―日吉）が最多16本。湘南台―渋谷は51分と約22分も短縮。日吉―新横浜は乗り換え不要で13分から6分と、利便性は大幅に向上する。



相鉄・東急両社長らが出発を記念しテープカットを行った＝3月18日、横浜市港北区

さらに直通線は、相鉄と東急の両社線に加えて東京メトロ、東京都交通局、埼玉高速鉄道、東武鉄道、西武鉄道の計7社局14路線に乗り入れる。開業日の始発電車が向かった浦和美園駅は、埼玉スタジアムの最寄り駅だ。神奈川県から東京、埼玉に至る広域鉄道ネットワークの誕生で、人の流れも大きく変わると予想されている。中でも、新横浜駅で東海道新幹線との接続は大きなトピックだ。上場企業も本社を置くビジネスの

一大拠点で、交通の大動脈と直結する。2027年に上瀬谷通信施設跡地（横浜市瀬谷、旭区）で開かれる国際園芸博覧会（花博）では新横浜駅が玄関口となり、「ヨコハマネイビーブルー」の電車が大勢の来場者を運ぶだろう。

出発式のあいさつで相鉄の千原広司社長が「開業をゴールと捉えず、これからも安全で最適な運行をしていく」と述べた通り、都心直通のメリットを生かした沿線の活性化はこれからが本番だ。

19年11月には一足早く相鉄・JR直通線が開業し、東海道貨物線、横須賀線などを経て渋谷・新宿方面へ向かっている。将来もし、品川や東京、千葉方面に乗り入れれば、成田空港にも…。いつか、相鉄に乗ればどこにでも行ける、そんな時代が来るかもしれない。

（神奈川県経済部長  
吉田 勝行）